

# 赤とんぼ歌いっぱい運動

金沢赤とんぼ童謡唱歌愛唱会  
〒920-1303 石川県金沢市辰巳町口 16

## 助成事業の概要

赤とんぼ 3 大事業

### 1. 新春歌い初め

文化庁河合隼雄長官が平成 19 年 1 月、国民の「絆」を深める様提唱された日本の歌 101 を翌年から呼応して歌い初めとして取り組んで参りました。お正月に童謡唱歌の似合う町金沢の新春の風物詩として定着しつつあります。

### 2. 夏休み子ども童謡唱歌まつり

子供の健全育成をめざし、全県下小学校児童対象に夏休みに一堂に会し、能登・加賀・金沢の 3 地区より金賞各 1 組を選出。秋の大会でも歌って頂くイベント

### 3. 童謡唱歌愛唱大会

春秋開催の大会を記念大会で秋 1 本に集中しておりますが、1,000 人余が全員で歌う素晴らしい参加型の大会であります。

## 事業の成果

### 1. 第 7 回新春歌い初め（平成 26 年 1 月 11 日（土） 於 県立音楽堂交流ホール）

平成 20 年 1 月にスタート。その意義を東京赤とんぼ理念と共有している。東京 23 年の営為努力が文化庁に響いたと受け止めて、広く県民と共に歌う場として、事業として企画してラッキー 7 の 7 回目

書初め・琴・笛の演奏・市長夫人の祝辞が有り開演。全 63 曲をゲスト青木和子、3 曲をご来場 350 名と歌う。参加者からは「涙が出た」

「楽しかった」の圧倒的な反応でした。

収支は 156 千円の赤字で累積 920 千円となっておりながら継続の方策で必死であります。

### 2. 第 7 回夏休み子ども童謡唱歌まつり

石川県下の全小中学校生に呼び掛けた「夏休みの思い出作り」と「参加する事に意義あり」とした今事業に今回は能登 15 名 加賀 16 名 金沢 20 名の計 51 名の参加があり、金賞 4 名 銀賞 5 名 ガンバ賞 4 名 元気賞 1 名 礼儀賞 1 名 学校賞 1 校が決まった。

収支は収入が参加費 500 円 × 51 名 = 25,500 円、雑収入 6,000 円 = 31,500 円

支出が 353,743 円で 322,243 円の赤字で苦悩しております。

### 3. 第 20 回記念 日本の歌世界の歌 童謡唱歌愛唱大会

昨年の結成 10 周年記念大会に引き続いて、今回は丁度 20 回となり、記念大会とした。その為総意としてとんぼ特集とした。とんぼの童謡唱歌 7 曲（全 36 曲中）を歌い、又金沢から NHK 合唱コンクール入賞の千坂小学校合唱部（ドリーム）の出演（40 名）が、夏休みの金賞発表と共に大喝采を受けた。入場者は台風第 18 号の来襲と、金沢市長選当日と重なり 1,000 人をやや下回る最低の入場状況でした。

収支は収入 1,764 千円で、支出は 1,920 千円で 156 千円の赤字の窮状であります。

## ■ 成果の広報、公表

あの戦争が終わって我が国が復興を目指した時、NHK ラジオ放送（テレビも民放も無い時代）から「歌のおばさん」番組として毎日 7 曲の童謡唱歌が、プロデューサー山本道子、歌唱安西愛子によって放送され 15 年間続きました。このお二人のコンビが退職後、東京赤とんぼ童謡唱歌愛唱会を昭和 58 年に結成されました。

当会はその全面支援で平成 15 年に地方初の会として出来たのでありました。そして平成 17 年高齢のため東京を閉じられる事態となり、継承の重責を唯一金沢の当会が担うことになったのでした。

この東京赤とんぼの会の「童謡唱歌は我が国が世界に誇る貴重な文化財である。これを再評価し後世に伝える。」との崇高な使命感と、23 年間に及ぶ営々と輝く（国際交流 3 回も）業績を消すことなく汚すことなく、参加型の童謡唱歌普及活動として無我夢中で取り組んできました。

今回の日社済のご支援は正に「天の助け」であり、当会の活動は我が国の青少年の健全育成と高齢者の福祉向上に少なくない相当の貢献を果たしていると確信しております。

## ■ 今後の展開

東京 30 年、金沢 10 年の活動の歴史を刻んで我が国の社会は 21 世紀を「文化の世紀 ころの世紀」と迎えておりますが、未だその端緒はうかがえません。物質的経済的豊かさと精神的な安定感、満足感のバランスある人生、人間感が求められるのが 21 世紀なのではないでしょうか。

我が国は素晴らしい春夏秋冬があり、山・川・海・島・・・の恵まれた自然が充満しており、そこには豊かな環境や生きものがいて人々の生活が有りました。それを童謡唱歌が歌い込んであるのであり、

明治以降 2 万曲近くも作られたのではなかろうかと言われております。我々や父母はその歌を歌い、その歌で学び・励み・和み・癒し、その人生路をたどって来た面が大きいのであります。

その歌声が聞かなく又歌わなくなっている現代の社会に、再評価し再普及を目指し「歌いっぱい運動」として「全市」、「全県」、「全国」、そして更にはワールドミュージックとして世界に、この素晴らしい日本文化をして国際貢献出来ればと夢を見ているのであります。

どうかこの様な当会に引き続きご支援の程切に御願い申し上げます。